

令和5年度豊橋市地球温暖化対策推進会議 会議録

日時：令和5年10月11日 午後2時～午後3時30分

場所：豊橋市役所 東81会議室

委員数：20名／20名（うち代理による出席は4名）

○開会

○委員紹介

○議題

（1）豊橋市の温室効果ガス排出量の実績について

（事務局から別紙資料に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明について何かご質問はないですか。

委員：省エネについてどういった取組みをすれば効果的か、教えてほしいです。

委員長：世界的には化石燃料を使わないといわれていますが、なかなか難しいです。LED照明等の省エネ家電や電気自動車等CO₂をださない燃料を使うなどがあります。

委員：昨年燃料の価格高騰があったことで、今年はガスの使用量がかなり減っています。これに伴い家庭でのエネルギーは減るのではないのでしょうか。

委員：ガス同様に電気の使用量も減っており、利用者への節電を呼びかけています。

委員長：ありがとうございました。続いて議題の2の豊橋市地球温暖化対策推進計画の関連施策の進捗状況について事務局から説明してください。

（2）豊橋市地球温暖化対策推進計画の関連施策の進捗状況について

（事務局から別紙資料に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明について、何かご質問はないですか。

委員：農業生産基盤整備面積とは、一般的な農業に適する土地のことですか。また資料2は2022年度の実績ですが、資料1は2020年度の実績となっているのはなぜですか。

事務局：農業生産基盤整備面積は圃場整備事業で整備した農地で、農業の効率化等を図る農地の整備事業です。また資料1は国や県の資料を基に算定したもので、算定に用いた資料の直近の実績が2020年度であることから、2020年度の実績を示しています。資料2は市の取組みであることから2022年度の実績を示しています。

委員長：委員の皆様の所属する団体などの取組について紹介をお願いします。

委員：営業車として環境に配慮したLPEと電気のハイブリット車の導入を進めています。

委員：農地の集約化により農地間の移動等によるCO2排出量の減少が期待できることから、農地の集約化を推進していただきたいです。また耕作放棄地へのソーラーパネルの設置が進んでいるなか、ソーラーパネルの設置が農地の集約化の妨げになることを危惧しており、検討していただきたいです。

委員：電気自動車の充電設備の拡充をしてほしいです。家庭への太陽光パネルの設置は、維持管理や更新を考えると設置への抵抗があるため、なかなか踏み切れません。自転車については駅に駐輪場がなく、また国道一号線は横断しにくい等の課題がみられます。公共交通は車と比べると不便で利用への抵抗感があります。緑のカーテンについては、以前はもっと盛んだったと思いますが、現在では減ってしまっている印象を受けます。

委員：省エネへの取組みについて、百の家庭の第一歩と考え、無理のない範囲で取り組めるよう話し合っていきたいです。

委員：2030年に50%減を、2050年までにゼロカーボンを目指しています。社有車を2030年までに全車EV化する取組みを進めています。苦しい取組みではなく、取組みやすい方法等を発信していきたいです。

委員：小学校や公共の場で緑のカーテンを率先して行い、子供たちの意識付けからすすめていただきたいです。

委員：一般家庭向けに、省エネの取組みについての情報提供や、CO2診断などを行っています。その他省エネ、蓄エネを推奨しています。

委員：商店街の活性化には歩いていただくしかないなか、今年の夏を振り返ると歩くには過酷な状況でした。歩く道も含め商環境としての整備が重要と思います。

委員：2030年に30%削減、2050年にゼロカーボンを目指しています。工場で使用する化石燃料、電気、蒸気等の削減や、照明のLED、太陽光パネルの設置を推進しています。

委員：人員不足や資機材高騰等、目先の課題解決が優先され、脱炭素への取組みについて二の足を踏んでいる企業が少なくないのが現状です。企業向けのセミナーやCO₂チェックシート等で周知啓発をしています。脱炭素への投資には時間や費用がかかるので、他機関と協働してアドバイスをしていきたいです。

委員：利用者に地球にやさしい乗り物を使おうとPRしています。またバスや路面電車が今どこを走っているかをスマホで分かるサービスを取り入れました。環境に配慮したバスは一回の充電で走行できる距離等に課題があり導入が難しいですが、将来、蓄電池の性能等が向上することを期待し、検討していきたいです。その他デジタルタコグラフを導入し、運転手の教育を通じて省エネに取り組んでいます。

委員：2050年のゼロカーボンを目指し、LED照明への交換やエアコンの更新に取り組んでいます。

委員：洗剤を環境のやさしいものに切り替えたり、設備や梱包素材についても環境を配慮したものへの変更について見直しています。社用車は電気自動車の導入を検討しています。

委員長：議題等は以上になります。本日の会議全体を通じて何かご意見等がありますか。オブザーバーの方はいかがですか。

オブザーバー：愛知県では2022年12月にあいち地球温暖化防止戦略2030を改定し、2030年度に2013年度から46%削減、2050年にカーボンニュートラルの実現に目標を変更しました。愛知県内の温室効果ガス排出量は、2020年度の実績は基準年度と比較して15.4%減でした。今後も脱炭素プロジェクトの創出・支援やゼロエミッション自動車の普及加速など、6つの重点施策に取り組んでいきます。

委員長：議事は以上になります。事務局へお返します。

事務局：本日はお忙しい中、貴重なご意見をありがとうございました。これで地球温暖化対策推進会議を終了します。